



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 情報・宣伝部
2023年6月9日 No.625

2023年度夏季手当・追加支給シリーズ②

追加支給を実現するために **応援をお願いします！**

黒字化をめざした令和4年度も、黒字化を達成した令和5年度も…
回答書で言われていることはほぼ同じです！

「これまでの奮闘」「物価上昇」「社員への期待」

★令和4年度夏季手当回答 **2.3ヶ月** ◎厳しい業績や財務状況が判断のベース

- ・「2年余りの困難な経営環境の中でも、新たなチャレンジを続け、実現した成果」
- ・「国際情勢に伴う物価上昇など現在の社会情勢」「これからの構造改革の一層の加速に期待」

★令和5年度夏季手当回答 **2.5ヶ月+5万円** ◎業績や経営状況等を踏まえる

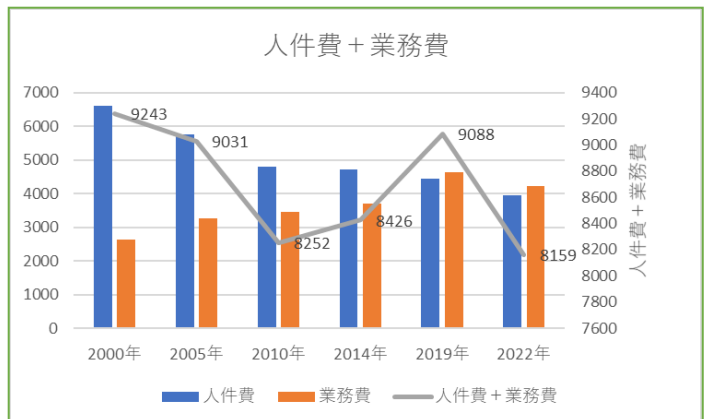
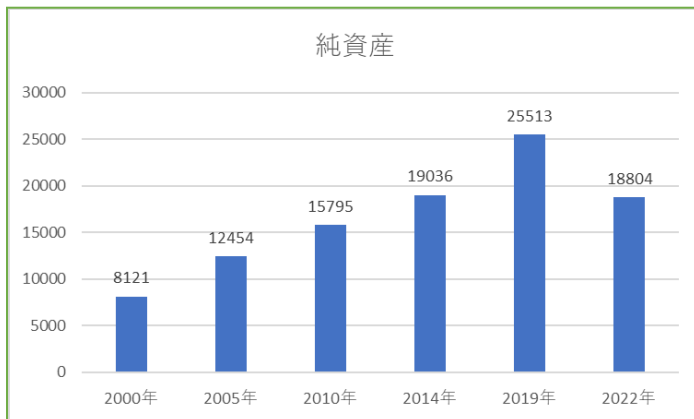
- ・「コロナ禍の3年間における奮闘」「黒字達成への尽力」「物価上昇等の社会情勢」
- ・「社員一人ひとりが自身の成長とJR東日本グループのサステナブルな成長の実現に向け、果敢にチャレンジすることへの強い期待」

なぜ？今年度は+5万円にしたのか！？ 明確な回答は無し！

融合と連携で仕事は減りましたか！？社員数は1年間で2,000人の減！

(令和4年度社員数 47,700人 ⇒ 令和5年度社員数 45,500人)

経営側のいう生産性の向上は間違いなく向上している！



有利子負債は「20年前の水準に戻った」と言うが…

純資産は20年で1兆円積み上げ！人件費は20年で1,000億円の減！

あくまで一時金である期末手当という性質上、中長期的な経営に影響を及ぼすものではありません。業績が好調なときは「公共交通機関として世間に突出感の無いように」や「安定的な支給」を名目に2011年から7期連続の増収増益でも期末手当の支給水準を下げているのは事実です。たった7年間で9,000億円もの純資産を増やしてきたのも、私たちの人件費を抑えてきた現実です。

再度、団体交渉に挑戦させてください！